JAPAN TRADITION

Rêve
PREMIUM II

Rêve（レーヴ）はフランス語で【夢】という意味です。「お客様の夢を実現させたい」との思いでネーミングしました。
お客様と白川建設の様々な情報発信をさせていただきます。

日　本　の　伝　統

匠の手から生まれるものづくり

工業製品があふれるこの時代においても、輝きを失わないもの。
それは長い歴史の中で、匠の手によって受けつがれてきた伝統美。
衣・食・住において日本には素晴らしい「技」があります。
そろそろニッポンの伝統を感じる暮らしを始めてみませんか。

GALLERY YUME
SHIRAKAWA ARCHITECTURE

なぜ、本物にこだ

俳優として活躍した後、日本神話語りプロジェクトで日本全国の神社を巡り、日本の伝統を受け継ぐ建築にも数多く触れている清水さんと、手刻みの家づくりにこだわり、木を知りつくした白川社長のスペシャル対談。

TUNEFUMI
SHIRAKAWA
代表
白川 恒文

祖父の代より材木業を営み、確かな木を見極める父のもとの修行、その後を継ぎ25歳で起業。以来30年以上、木と向き合い大工の手刻みの家づくりにこだわる。日本古来の家づくりの良さと、現代の生活に合う断熱住宅性能にも人一倍こだわり、常に最新の技術と探究心を持ち続け、快適であり代々継がれる家を提供できるように勉強している。

—清水さんの物を選ぶ基準とは何ですか？

清水：ストーリーがある手仕事の物を選ぶことですね。むしろ、ブランドは見ない。情熱とストーリーがある物を選ぶようにしています。余談ですが、神道に偶然はない。物でも人でも巡りあったなら、きっと初めからそこに行くようになっている。この家も、そういう巡り合わせだと思いますね。

—なぜ白川建設さんを選ばれたのですか？

清水：初めに感心したのは、すでに施主さんが住んでいる家の中を見学させてくれたことです。一般的にモデルハウスとして見学させてくれる家は住む前じゃないですか。要するに施主さんとの信頼関係の深さにびっくりしましたね。そして、現場でも職人さんと白川さんのあったかい雰囲気が妙に心地よかったですね。最後には、みんなが座り込んで話していましたから。

白川：そのときは清水さんの奥さんのご両親と一緒に来られてましたね。

清水：そう。家内のご両親がまず木を知っている白川さんに職人魂を感じたそうです。その後に話が進むと、「これ、うちが 30 年前に建てた家です」と言って、どんどん今まで建てた家をぜんぶ見せてくれる。その姿勢に、信頼感を持ちましたね。

白川：お宝ご拝見ツアーにも参加していただきましたよね。

清水：そうそう。お宝って何だろうなって思っていたら、白川さんが代々持ち続けてきた木のことですよ。「こんな木がありますよ」と嬉しそうに見せてくれました。僕らからすると薄汚れて木目も見えないようなものなんです。それが、白川さんの工場で磨かれていくと、みるみる立派な立派な木に変わっていく。そして新しく建てる家の柱になったときに、「ああ、あの木がこんな風に使われるのだ」って初めて知る。そして、そこに白川さんの技を見る。

僕らは神社の造営や修造を拝見させていただく機会が多いのですが、それ自体が庶民には縁遠い匠の技だと感じます。すばらしい木組みで、釘も使わないでよく組み立てられているんだなと思っていたときに、白川さんの建てた家で、その技術がポンっと目の前に出された感じですね。そこに、またびっくりしました。

僕らと白川さんがこだわって建てた家を是非みたいと、全国から観に来るのだけど「こういう木に囲まれた家にあこがれていてもなかなか造れない」と言います。

白川建設が建てた清水さんの家

本物を知る人が選んだ手仕事の家

❶ 質感のある梁とティファニーブルーの組み合わせが異国情緒あふれる寝室。安定感のある二重梁と木組みに日本の伝統美と職人の技を感じる

❷ リビングは 1 日を始める場所。元気が出るよう、ビタミンカラーの珪藻土を塗った。照明器具には白樺で作ったフィンランド製をセレクトした

❸ ダイニングとは別に、開放的なリビングを用意。昼は広くとった窓から降り注ぐ自然光、夜は間接照明。昼と夜で違った趣を楽しめる

わるのか？

本物を造る人 白川恒文 VS 本物を探す人 清水善三

―他では希望通りの木がそろわないってこともありますよね。

清水：他社では、まず難しいですね。仮に物がそろってもここまでできる職人がいないという問題もありますよね。

―そうですね。手作りにこだわっていると言っても部分的にプレカットを取り入れている会社が多い中、完全に手作りする理由は何ですか？

白川：やっぱり基本的にはプレカットって、家の強度の問題を考えても、簡単に組み立てられるだけに、昔ながらの日本家屋と同じにはならない。後はやっぱり伝統を守るっていう意地ですね。

僕は技術を持った職人を残したいし育てたいですね。職人もね、プレカットのような簡単な仕事をしているとプライドが低くなるのですよ。できることが多い職人ほど、ちゃんとプライドを持っている。うちの仕事で鍛えられると技術が身につくから、「白川で仕事をしていた」と言えば、他でも通用します。

清水：それが技術の継承になるのですよね。

白川：プライドを持って仕事をしてもらうことが大事ですよ。仕事にプライドがあれば、多少つらいことがあっても続く。

清水：技術を持ちながら、提案してくれる人はなかなかいないですよ。

日本にはすばらしい神様がいて神代の時代から続いてきているのに、家だけが 10 年や 20 年住んだら終わりって思って建てるのだったらもったいないですね。せっかくだったら、子どもや孫の時代もずっと住んでもいいって思える家にしたいですよね。

―実際に住まわれてみての暮らしここちはどうですか？

清水：無垢の木をふんだんに使っているので、自然を感じますね。居るだけで心が豊かになりますよ。木の持っている力ですかね。いろんな人がこの家に訪れ新しい縁がうまれています。今回のテレビのお話も木の力かもしれませんね。

あいテレビ
6チャンネル

2/6（金）
19:00～放送予定

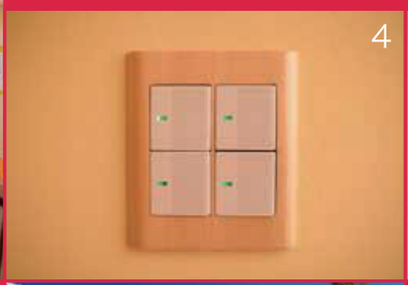
清水さんの新居浜の暮らしが取材されました。撮影場所は白川建設が建てた清水邸と、清水さんがコーチを務める新居浜インドアテニススクールです。ぜひご覧ください。

※ 放送内容は都合により変更になる場合があります。

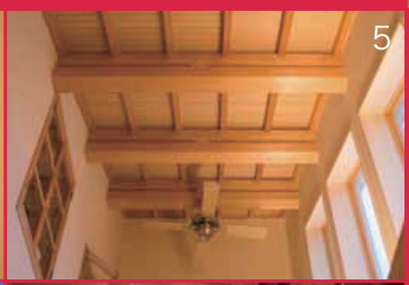
ZENZO SHIMIZU
清水善三

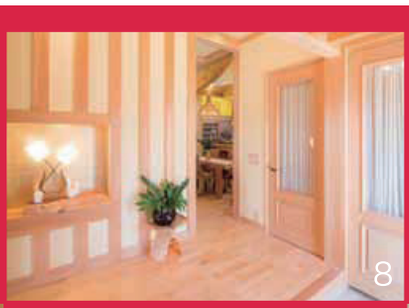
映画、テレビドラマ、舞台やバラエティ番組などで活躍する。その後、全国の神社を舞台に、日本神話を現代語と音楽の生演奏で語り継ぐ語り舞台®『日本神話への誘い®』の公演を進める日本神話語りプロジェクトのマネージャーとして活躍中。出雲大社「平成の大遷宮」奉祝奉納公演、天皇陛下御即位20年奉祝記念祝賀公演など全国で75回以上、ハワイでも公演した。愛媛県に移住し、公演や著述、スポーツ振興など活躍の場を広げている。また、新居浜インドアテニスクラブの特別講師も務める。祖父は1920年（大正9年）日本人で初めてウィンブルドンベスト4に進出し、デビスカップ日本代表としても活躍したテニス選手の清水善造

❹ 無垢の木から一枚一枚削り出され特殊な加工を施したスイッチプレート



❺ 8m に及ぶリビングの天井には匠の技が感じられる二重梁。意匠を凝らした空間は訪れる人を優しくする





❽ 玄関は「立木」をイメージし、木を格子状にデザイン。木は無節の柾目のみを使用している

❾ 地松を手すりとした白川建設オリジナルのデザイン。段板は一枚一枚手で加工された厚さ 50mm の無垢材

❻ セラミックタイル貼りの外観は洋テイスト。わざと家の中を連想できないデザインを選んだという遊びごころも清水さんらしい

❼ 6m の地松を使用した登り梁。手刻みの仕事が可能にしたダイナミックなデザイン。豊富な経験と技術が生み出す伝統美

人を惹きつけるものには物語があります。

❶「古事記」に伝わるヤマタノオロチ退治伝説の奥出雲では、古くから製鉄の技術が発達し、「たたら」と呼ばれる鍛冶業の技術に、刀剣製法の技術を取り入れて鉄工芸品を作り続けている：高橋義一作ロウソク立て

❷ 1818年、京都の三条大橋のすぐそばで、シュロ等で作られたホウキやタワシ等を商う内藤商店が開業した年です。内藤商店では対面販売を重視するという観点から、百貨店などへの出張販売をしない、つまり内藤商店の商品は内藤商店でしか買えません。使ってみて初めて分かるもの、すべては「モノが語る」のです。作り手と売り手、そしてお客さん、それをきっちり守り続けているからこそ、内藤商店にはお客さんが跡絶えないのかも知れません。それはけっして特別なものではなく、昔より私達の身近にあったのではないでしょうか：シュロの小ホウキ

❸「掌」つくりにこだわり真竹と桜の木でつくった倉敷の木工職人、森川雅光さんが作られている鬼おろし。桜材に竹の刃を埋め込んで作られたもの。刃となる竹の向きが絶妙でおろすのが楽しくなる：森川雅光作鬼おろし

❹ 1880年創業、宮本商行は宮内庁御用達として宮家や迎賓館の晩餐で内外のお客さまのおもてなしをしてきた歴史には、伝統が培ったクラシック感覚と、熟練の職人の手による銀製品としての存在感は今も脈々と生き続けている：銀製品スプーン

❺ 大工道具に対する愛着とこだわりは良い仕事をする為の職人の魂ともいえるものです。鉋（かんな）や金槌は造作によっても木によっても違います。その技術は職人の技として、また日本の誇れる伝統技術として伝承していかなくてはならない物ではないでしょうか：右から金槌（かなづち）、鉋（かんな）、墨刺（すみさし）

❻ 日本六古窯の一つに数えられる備前焼を、プロダクトデザイン的な視点から見直し制作した湯のみ：小橋順明作湯のみ

❼ 1904創立したノリタケカンパニー。日本に古来から伝わる陶磁器の技術に加え様々な革新的な技術力、伝統的な感性が融合した作品として高い評価を受け現在では「オールドノリタケ」と呼ばれ継承されています：ティセット ノリタケ

❽ 伊勢神宮は20年に一度の第62回式年遷宮を終えました。1300年にわたって営々と継承されてきたお祭りを通して、日本人の伝統・文化を次の世代につなげます。これはその際建て替えられた宇治橋の古材で作られました：伊勢神宮の古材

❾ 明治41年創業、老舗料理道具店「釜浅商店」オリジナル「両手フライパン」（山田工業所は、日本で唯一、打出し製法でフライパンを製作する技術を持つ会社です）職人の目で確認しながら鉄を何千回叩き上げて作る打出し製法により作られている一生モノです：山田工業所 両手フライパン

最高仕様が標準仕様

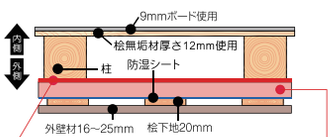
匠の技
＋
白川建設の独自工法

伝統の継承と技術革新

❶ EH2工法（高断熱工法 ＋ 耐力壁工法）
エアコン一台で家中冷暖房

弊社開発の EH2工法（高断熱工法＋耐力壁工法）は、省エネ対策等級4の性能を有する工法であることが認定されています。等級4とは、国が定める温暖化抑制基準の最高ランクであり、弊社のような小企業が独自工法で認定されるのは全国的にも極めて稀な例です。国土交通省は 2020 年までにすべての新築建物に省エネルギー基準への適合を義務付ける方針を正式に決定しました。弊社では 1990年後半には高断熱住宅の開発を開始し、標準工法として、既にその条件を満たした家を提供してきました。EH2工法は、その断熱性能の高さから、エアコン一台で家中の冷暖房を可能にするため、冷暖房機器の台数を削減することができ、光熱費の削減、冷暖房機器の購入費を大幅に抑えることができます。

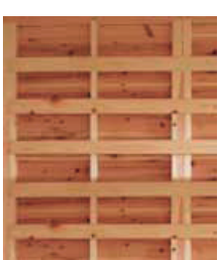
耐力壁工法のしくみ



針葉樹構造用合板
厚さ9mmの構造用合板で、「壁倍率2.9倍」という優れた数値を実現しています。

断熱材 ネオマフォーム（30mm）
最高レベルの断熱性能、熱伝導率（λ）は0.020w/k。
気泡構造は100ミクロン以下と極微細。
断熱性能の高さはこの気泡の細かさが実現しています。

❷ 更なる強度を実現
木摺（きずり）工法



日本でも古くからある工法で、家中の壁の下地にバラ板（桧）を貼る工法です。面構造で地震の揺れにも対応。板と板の間に隙間があることで、揺れを吸収して逃します。耐力数値も0.5付加されます。

❸ ダクト式熱交換システム

PM2.5 をガード！ より快適な室内環境を目指して

弊社ではダクト式熱交換システムを採用しています。給気・排気ともに機械的に換気を行うシステムのことです。給気フィルターユニットが PM2.5等外気汚染物質の侵入を防ぎ、室温に近づけて導入するため、安全な空気環境と、快適な温度を保つことができます。EH2工法の完成度を更に高める熱交換換気システムです。

❹ エアコンの仕事を減らす窓
樹脂サッシ

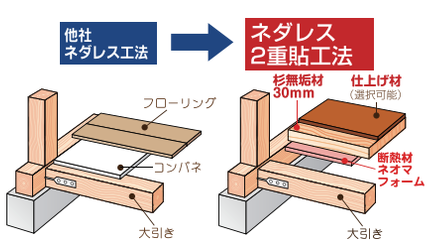
夏、室内へ流れ込む熱の約7割は窓から入ってきます。また、冬に暖房で暖められた熱の約半分は窓から失われます。「部屋の居心地は窓の断熱化で変わる」という理由がここにあります。弊社の採用している樹脂サッシは、国内最高基準の断熱性を誇り、高い省エネ効果を発揮しています。

① 遮熱断熱 Low-E ガラス（アルゴンガス入り）
通常のペアガラスの中間層（空気層）の中には乾燥空気が入っていますが、遮熱断熱 Low-E ガラスに入っているアルゴンガスは、乾燥空気に比べ 1.5 倍も熱を伝えにくく、断熱性能が高められます。

② 樹脂だから結露の発生を軽減します
樹脂の熱の伝わりは、アルミの約1,000分の1。室内外の温度差で生じる結露を大幅に軽減します。

❺ 30mmの杉無垢材仕様のネダレス２重貼工法

床の下地材に杉無垢材30mmを使用し、更に仕上げ材（選択可能杉・桜・檜などの無垢材。またはフローリング）を貼る２重構造です。杉は日本の風土・気候にも適した素材で、特に調湿性、断熱性に優れています。またしっかりとした厚みの杉材を床に敷き詰めることで、水平力の強化にもつながります。



3月に展示会
開催予定。
詳しくはお問い合わせください。

地松を使った
家を建築中

強度の高さから、神社仏閣に使われることが多い地松。近年では希少木材となりつつあります。
今回、3間（約 6m）放ちのリビングで使用しますが木造住宅では極めて異例な大空間となります。
これは曲材の地松の強度と匠の複雑な木組みのなせる技で、その姿は長く日本の『伝統美』として受け継がれることでしょう。
施主様のたっての希望は『ストーリーのあるもの創りを長く楽しみたい』とのこと完成は 2016 年春以降となります。

GALLERY YUME
SHIRAKAWA ARCHITECTURE

建築・企画・設計・施工
有限会社 白川建設

事務所・ギャラリー　新居浜市御蔵町3番29号　TEL (0897) 41－1324
工　　場　新居浜市上原3丁目6番32号　TEL (0897) 41－1324
建設業登録愛媛県知事（般－24）第12894号　宅地建物業登録愛媛県知事（5）第4106号
http://s-architecture.co.jp/